

## いかフライからの表示にない アレルギー(卵)の検出事例

衛生化学部

○白川綾乃 高山清子 鈴木郷  
木下和昭 恒益知宏 松川浩子  
落合克紀

はじめに

1

2

## 食物アレルギーとは

食物を摂取した際、食物に含まれる原因物質(アレルギー:主としてタンパク質)を異物として認識し、身体が過敏な反応を起こすこと



出典:消費者庁「知っておきたい食品の表示」より

## 表示制度

食物アレルギー表示対象品目(食品表示法)

表示	用語	品目
義務	特定原材料 (7品目)	えび、かに、小麦、そば、卵、乳、 落花生(ピーナッツ)
推奨	特定原材料に 準ずるもの (21品目)	アーモンド、あわび、いか、いくら、 オレンジ、カシューナッツ、 キウイフルーツ、牛肉、くるみ、 ごま、さけ、さば、大豆、鶏肉、 バナナ、豚肉、まつたけ、もも、 やまいも、りんご、ゼラチン

出典:消費者庁「加工食品の食物アレルギー表示ハンドブック」を基に作成

3

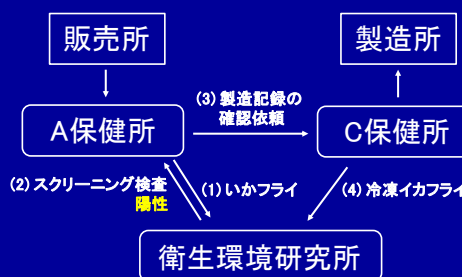
4

## 収去検査による表示の監視

(平成29年度～令和3年度)

- 対象: 県内で収去された食品 141検体  
(原材料名表示に特定原材料の記載が無いもの)
- 検査項目: 卵、乳、小麦、そば、落花生
- 不適事案: 令和元年度 1件(卵)  
平成30年度 1件(乳)  
平成29年度 2件(卵)  
⇒いずれも表示欠落による不適

## 本事例の概要



5

6

## 対象及び方法

7

## 検査対象



いかフライ



冷凍イカフライ

8

## 検査方法

### 1. スクリーニング検査

ELISA法(定量法)

▼ 陽性の場合

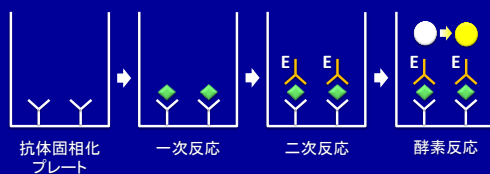
### 2. 確認検査

ウエスタンブロット法(定性法)

9

## ELISA法

抗原抗体反応を利用して、食品に含まれるタンパク質を検出・定量する手法

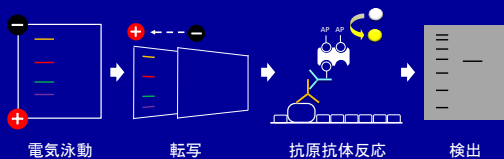


参考: 株式会社森永生科学研究所HPを基に作成

10

## ウエスタンブロット法

食品に含まれるタンパク質を、電気泳動により分子量で分離し、抗原抗体反応を利用してタンパク質を検出する手法



参考: 株式会社森永生科学研究所HPを基に作成

11

## 結果

12

## ELISA法(スクリーニング検査)

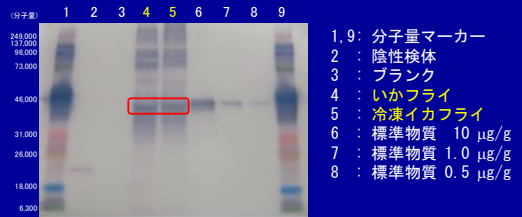
試料	卵由来タンパク質 ( $\mu\text{g/g}$ )		判定
	Nキット <sup>a)</sup>	Mキット <sup>b)</sup>	
いかフライ	>20	>20	陽性
冷凍イカフライ	>20	>20	陽性

a) 日本ハム株式会社製FASTKIT Ver. III

b) 株式会社森永生科学研究所製モリナガFASPEKエライザII

13

## ウエスタンブロット法(確認検査)



いかフライ、冷凍イカフライともに陽性

14

## 考察

15

## 検査結果のまとめ

	スクリーニング検査 (ELISA法)	確認検査 (ウエスタンブロット法)
いかフライ	陽性	陽性
冷凍イカフライ	陽性	陽性

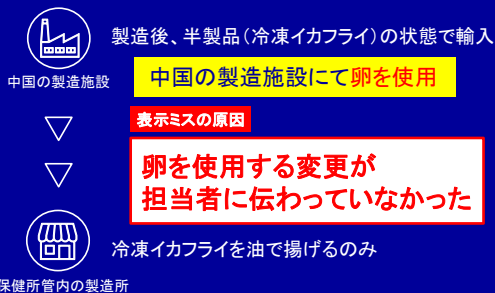
冷凍イカフライの製造施設での混入が推測された

製造施設等への調査依頼

16

## 製造施設等への調査の結果

### 製品の流れ



17

## 今後について

1. アレルゲン検査の継続的な実施
2. 保健所等との連携に基づく、適切な検査の実施
3. アレルゲン一斉分析の開発

18